

### 第3回山口県地震・津波防災対策検討委員会の議事概要

1 日 時 令和6年11月6日(水) 14:00~16:25

2 場 所 山口県庁 本館棟1階 視聴覚室

3 出席者 検討委員会委員(14名出席、2名欠席)

#### 4 議 事

① 令和6年能登半島地震を踏まえた防災・減災対策について

② 南海トラフ・周防灘断層群地震・津波被害想定の見直しに係る業務計画について

#### 5 主な委員意見

① 令和6年能登半島地震を踏まえた防災対策の方向性について

- ・時間のかかるもの、比較的速やかに手がつけられるものがあるため、ロードマップを整理する等、具体的な締切を付けた上で対応するとよい。
- ・広域避難所の整備について、機能や目的により、選定場所や対応する災害が変わるため、広域避難所や2次避難所の目的・機能を明確化した上で、具体的な選定・対応について検討いただきたい。
- ・定住者だけではなく、観光客や外国人等のスポット的に滞在される方への対応についても検討いただきたい。
- ・能登半島では、地震後に大雨が発生する等、多重被害となっている。このような状況・課題についても反映していただきたい。
- ・住民目線で見ると、「地域住民による自主的な避難所運営ガイドライン」が分かりやすいが、コロナ前にできたものであり、備蓄等の状況が大きく変わっている。見直しの際は、女性視点・ペット・多様性等も含め、住民に分かりやすいような形で実施いただきたい。

② 南海トラフ・周防灘断層群地震・津波被害想定の見直しに係る業務計画について

- ・被害想定結果のアウトプットについて、前回意見を受けて旧市町単位による集計も検討ということで、ぜひ対応を進めていただきたい。
- ・住民が被害想定結果を活用したり、危機感を持ってもらうためにも、より詳細なデータを公表する等、公開方法等について検討いただきたい。
- ・急傾斜地危険度予測のうち、「地すべり危険箇所」「山腹崩壊危険地区」については、危険度ランクの算出根拠についても示していただきたい。
- ・液状化に伴う地盤の沈下量について、どのように活用するのか明確にするとともに、浮き上がりについても検討いただきたい。
- ・表層地盤モデルについて、どのように設定したのか、どのようなデータ等をもとにしたのか、検討状況を示していただきたい。